



☆30年産米の作柄結果☆

佐渡は86の「不良」となり、結果として出荷契約数量を大幅に下回りました。原因としては、相次ぐ台風による潮風害やフェーンによる稲体の痛みおよび8月下旬以降の日照不足が登熟（粒の肥大）の抑制に大きく影響を及ぼしたからです。そのような中でも、生産者が水管理を徹底したことで、品質において心白粒等の発生は少なく、上位等級比率はコシヒカリ77.1%、こしいぶき86.6%となりました。



☆ふゆみずたんぼ実施中！！☆

佐渡では田んぼの中にある水棲生物を育むための“ふゆみずたんぼ”を行っています。この取り組みは「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」の“生きものを育む農法”の1つで、「朱鷺と暮らす郷」米の要件になっています。平成19年11月から取組みを行っており、この取組みを行うことで、ドジョウなどの水棲生物を増やし、冬の間でも田んぼがトキの餌場になっています。

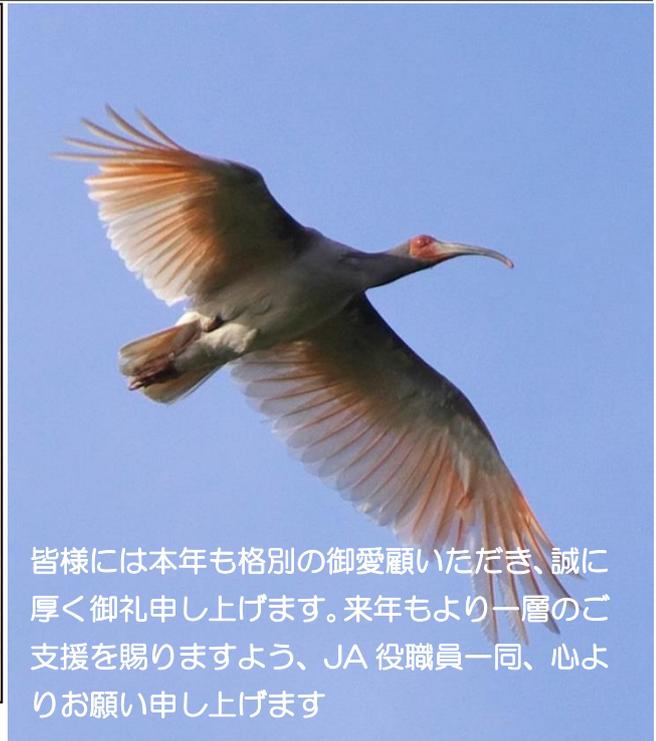


☆トキ情報☆

トキは“ふゆみずたんぼ”を実施している田んぼの中に入り、エサとなるドジョウ等の水棲生物を探している姿を多く見かけるようになりました。この時期のトキの羽の色は外側が白で、内側がサーモンピンクでとても綺麗に見えます。1月以降、羽の色が灰色に変わり、繁殖時期を迎えることとなります。来年もトキ同士のペアから多くのヒナが生まれることを楽しみにしています。



12月20日現在で自然界にいとみられているトキの総数は365羽（うち1羽が本州）となっています。



皆様には本年も格別の御愛顧いただき、誠に厚く御礼申し上げます。来年もより一層のご支援を賜りますよう、JA 役職員一同、心よりお願い申し上げます

JA 佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」
で佐渡の情報が見られます。



<https://www.facebook.com/jasadotanbo>
JA 佐渡 HP やフェイスブック・ツイッター・g+でも佐渡の情報が見られます

編集人：佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 山田
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発行日：平成30年12月